

# 景況・経営動向調査結果

平成22年度 第2四半期（7～9月）

## 目 的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

## 調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社  
（回答238社、回収率59.5%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

## 調査期間

平成22年9月10日～10月5日

## 調査方法

郵送・E-mailによるアンケート方式

## 分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

## 業界の景況感

7～9月期実績は、製造業で27.4ポイントもの大幅なマイナス、非製造業ではプラス10～12月期の見通しは、製造業・非製造業ともに改善見込み

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業で大幅なマイナスとなったが、非製造業ではマイナス幅が縮小し、全産業ベースでは35.9（前回（6月）調査比+5.7）と3期連続で改善した。

一方10～12月期の見通しは、今期実績と比較して製造業で11.1ポイント、非製造業でも1.7ポイントの改善が見込まれており、全産業ベースでは33.1と2.8ポイントの改善見込みとなった。

## 会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

7～9月期実績は、製造業で30.8ポイントもの大幅なマイナス、非製造業ではプラス10～12月期の見通しは、製造業で8.6ポイントの改善見込み、非製造業では1.3ポイントの悪化見込み

売上・生産額	今期実績	29.9 (+1.6)	来期は製造業で改善、非製造業では悪化見込み。
利益・採算面	今期実績	25.1 (+7.6)	来期は製造業で改善、非製造業では悪化見込み。
資金繰り	今期実績	13.8 (+9.4)	来期は製造業・非製造業ともに悪化見込み。
設備投資	今期実績	20.6 (+3.5)	来期は製造業・非製造業ともに悪化見込み。
雇用状況	今期実績	4.8 (+2.5)	来期は過剰感がやや弱まる見込み。
経営上の問題点	全産業ベースで6期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ。		

上記括弧内の数字は前回調査比

### 産業天気図 自社業況の総合判断：前年同期比

	7～9月期 実績		10～12月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 30.1		▲ 30.2
製造業		▲ 30.8		▲ 22.2
非製造業		▲ 30.0		▲ 31.3
建設業		▲ 34.3		▲ 29.4
卸売業		▲ 39.4		▲ 27.3
小売業		▲ 34.9		▲ 42.6
サービス業		▲ 18.9		▲ 24.2
小規模企業等		▲ 40.3		▲ 37.6

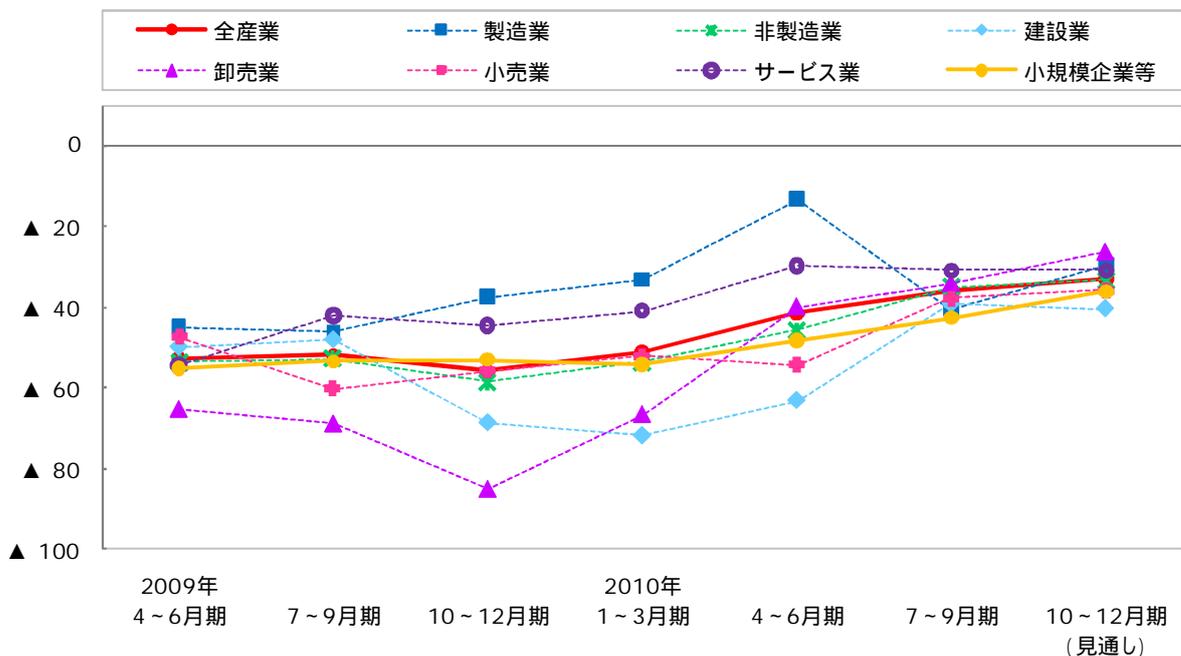
- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

前年同期（2009年7～9月期）と比較して

2010年7～9月期 実績	2010年10～12月期 見通し
全産業 35.9〔前回調査比+5.7〕	全産業 33.1〔今期実績比+2.8〕
業種別にみると製造業で 40.7（同 - 27.4）と大幅に悪化。一方、非製造業ではサービス業（同 - 1.1）以外の業種で改善。とりわけ建設業（同 + 23.8）の大幅改善もあり、非製造業全体では 35.2（同 + 10.6）と3期続けて改善した。 また、小規模企業等は 42.7となり前回調査から5.5ポイント改善した。	製造業で 29.6と今期と比べて11.1ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業でも 33.5と1.7ポイントの改善見込み。中でも卸売業（同 + 7.8）の改善幅が最も大きかった。結果、全産業ベースでは 2.8ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 36.2と今期と比べ6.5ポイントの改善を見込んでいる。

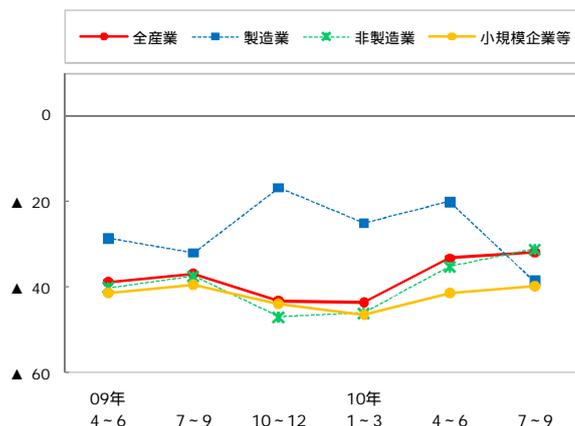
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2010年4～6月期）と比較して

2010年7～9月期 実績
全産業 31.9〔前回調査比+1.3〕
業種別にみると製造業は 38.5（同 - 18.5）と大幅に悪化し過去最低値を更新した。一方、非製造業では建設業（同 + 10.5）の大幅改善もあり 31.1（同 + 4.1）と3期連続で改善し、調査開始以降初めて製造業を上回った。 また、小規模企業等は 39.7（同 + 1.6）となり2期続けて改善した。

B S I : 「上昇」 - 「低下」



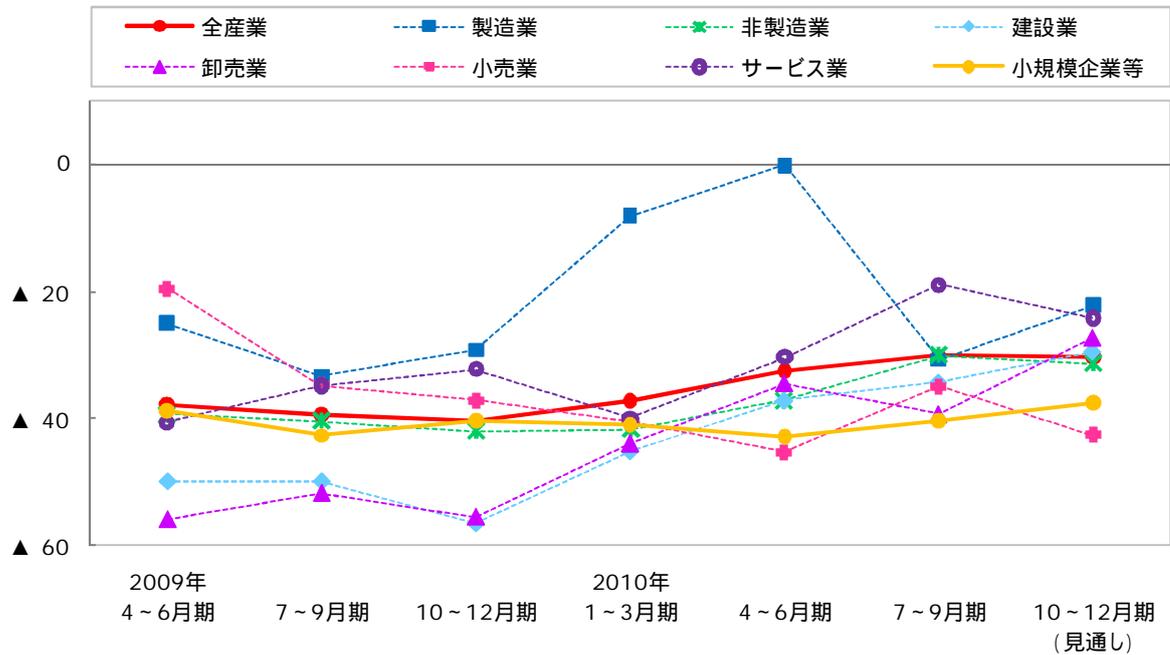
2

自  
社  
業  
況  
の  
総  
合  
判  
断

前年同期（2009年7～9月期）と比較して

2010年7～9月期 実績 <b>全産業 30.1</b> 〔前回調査比+2.4〕	2010年10～12月期 見通し <b>全産業 30.2</b> 〔今期実績比-0.1〕
業種別にみると製造業は 30.8（同-30.8）と大幅に悪化し、再びマイナス水準（「低下」超）となった。一方、非製造業では 30.0（同+7.2）と3期連続で改善し、僅かながら2009年4～6月期の調査開始以降初めて製造業を上回った。 また、小規模企業等は 40.3（同+2.5）と改善した。	製造業は 22.2と今期と比べて8.6ポイントの改善見込み。一方、非製造業では卸売業で12.1ポイントもの改善見込みとなったが非製造業全体では 31.3と1.3ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは0.1ポイントの悪化見込みとなった。 また、小規模企業等は 37.6と今期と比べて2.7ポイントの改善を見込んでいる。

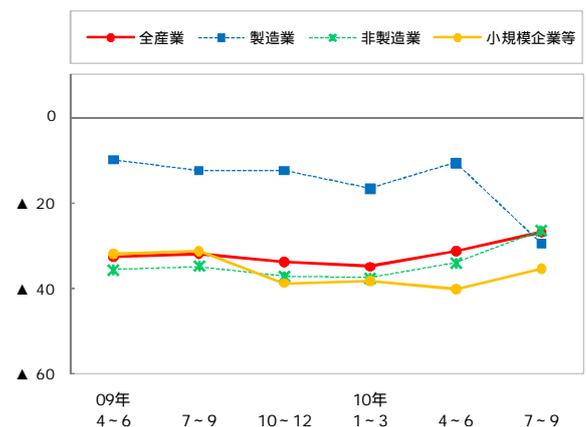
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2010年4～6月期）と比較して

2010年7～9月期 実績 <b>全産業 27.0</b> 〔前回調査比+4.3〕
業種別にみると製造業は 29.6（同-18.9）と大幅に悪化し過去最低値を更新した。一方、非製造業ではサービス業（同+14.5）の大幅改善もあり 26.6（同+7.6）と2期連続で改善し、調査開始以降初めて製造業を上回った。 また、小規模企業等は 35.5（同+4.8）と改善した。

B S I : 「上昇」 - 「低下」



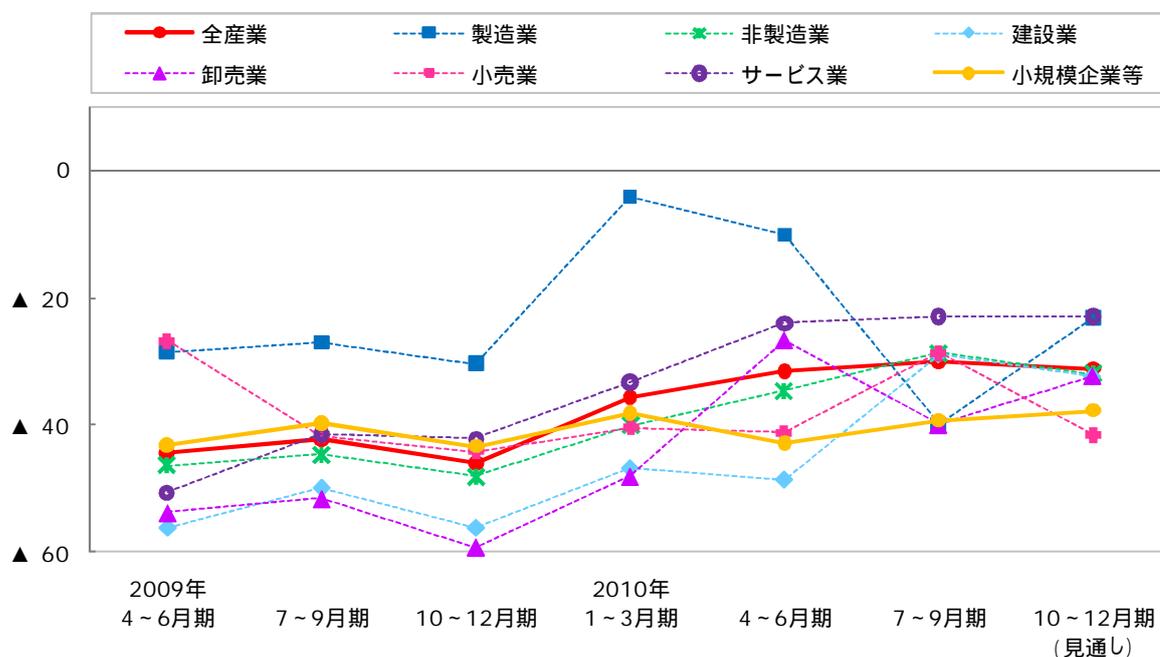
### 3

## 売上・生産額

### 前年同期（2009年7～9月期）と比較して

2010年7～9月期 実績	2010年10～12月期 見通し
全産業 29.9〔前回調査比+1.6〕	全産業 31.1〔今期実績比-1.2〕
業種別にみると製造業は 40.0（同-30.0）で大幅に悪化し、2009年4～6月期の調査開始以降の最低値となった。一方、卸売業（同-13.3）以外の業種で改善した非製造業では 28.7（同+6.0）と3期連続で改善した。	製造業で 23.1と今期と比べて16.9ポイントもの改善が見込まれる一方、非製造業では小売業で12.9ポイントの悪化が見込まれるなど非製造業全体では 32.0と3.3ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは1.2ポイントの悪化見込み。
また、小規模企業等は 39.3となり、前回調査から3.5ポイント改善した。	また、小規模企業等は 37.7と今期と比べて1.6ポイントの改善を見込んでいる。

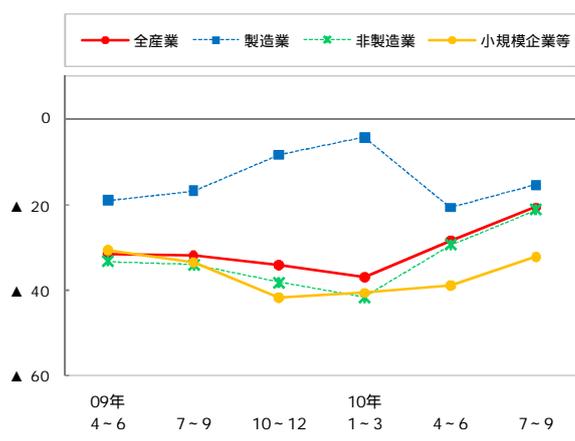
B S I : 「増加」 - 「減少」



### 前期（2010年4～6月期）と比較して

2010年7～9月期 実績
全産業 20.6〔前回調査比+7.7〕
業種別にみると製造業は 15.4（同+5.3）と改善した。一方、非製造業でも卸売業（同-15.8）以外の業種で改善。とりわけ建設業（同+27.0）の大幅改善もあり 21.2（同+8.2）と2期連続での改善となった。
また、小規模企業等は 32.3（同+6.5）となり3期続けて改善した。

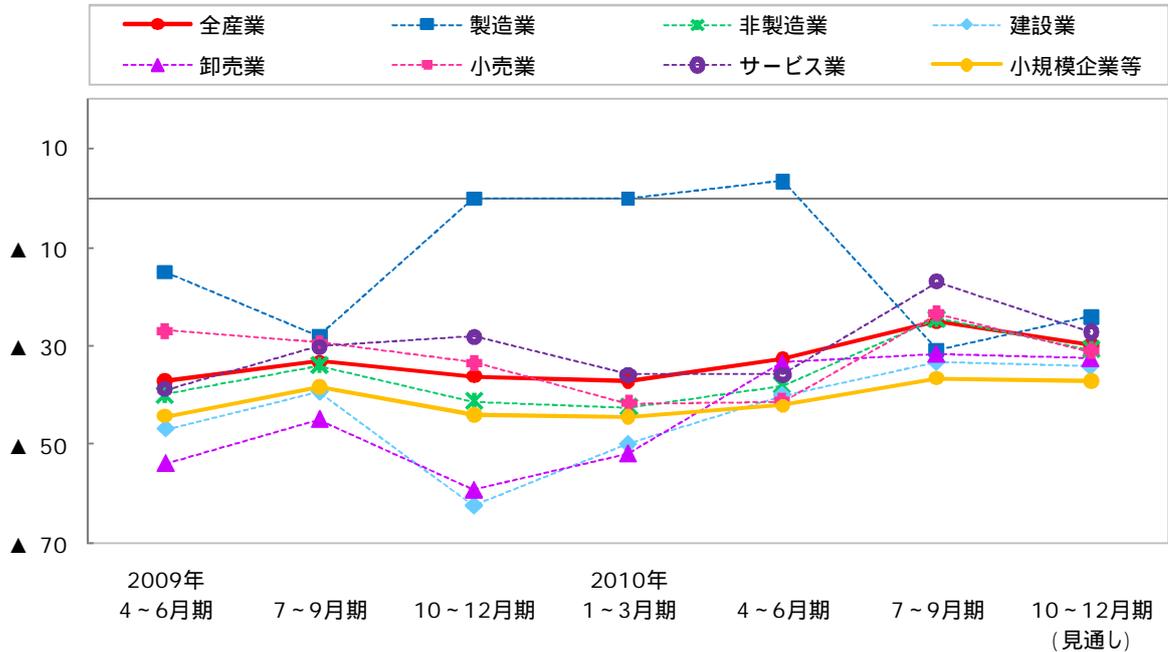
B S I : 「増加」 - 「減少」



前年同期（2009年7～9月期）と比較して

2010年7～9月期 実績	2010年10～12月期 見通し
全産業 25.1〔前回調査比+7.6〕	全産業 29.8〔今期実績比-4.7〕
業種別にみると製造業は 30.8（同-34.3）と大幅に悪化しマイナス水準（「悪化」超）に転じた。一方、サービス業（同+18.9）・小売業（同+17.8）をはじめ全業種で改善した非製造業では 24.4（同+13.6）と2期連続で改善した。 また、小規模企業等は 36.5（同+5.6）となり、2期続けて改善した。	製造業で 24.0と今期と比べて6.8ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業では、10.3ポイントの悪化見込みとなったサービス業ほか全業種で悪化が見込まれ非製造業全体では 30.6と6.2ポイントの悪化見込み。 また、小規模企業等は 37.2と今期と比べて0.7ポイントの悪化を見込んでいる。

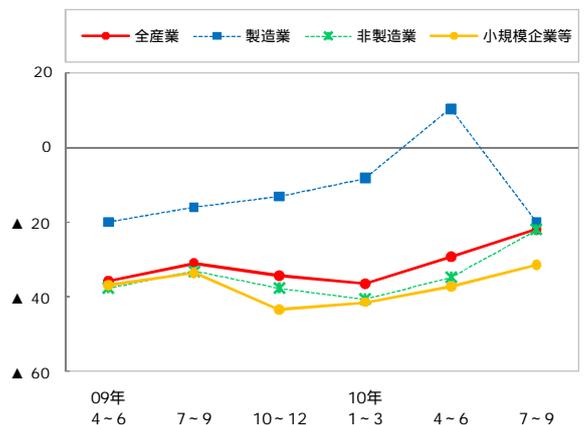
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2010年4～6月期）と比較して

2010年7～9月期 実績
全産業 21.9〔前回調査比+7.3〕
業種別にみると製造業は 20.0（同-30.4）と再びマイナス水準（「悪化」超）に転じた。一方、非製造業ではサービス業（同+19.2）・小売業（同+18.1）の大幅改善もあり、 22.1（同+12.7）と2期連続で改善した。 また、小規模企業等は 31.4（同+5.9）となり3期続けて改善した。

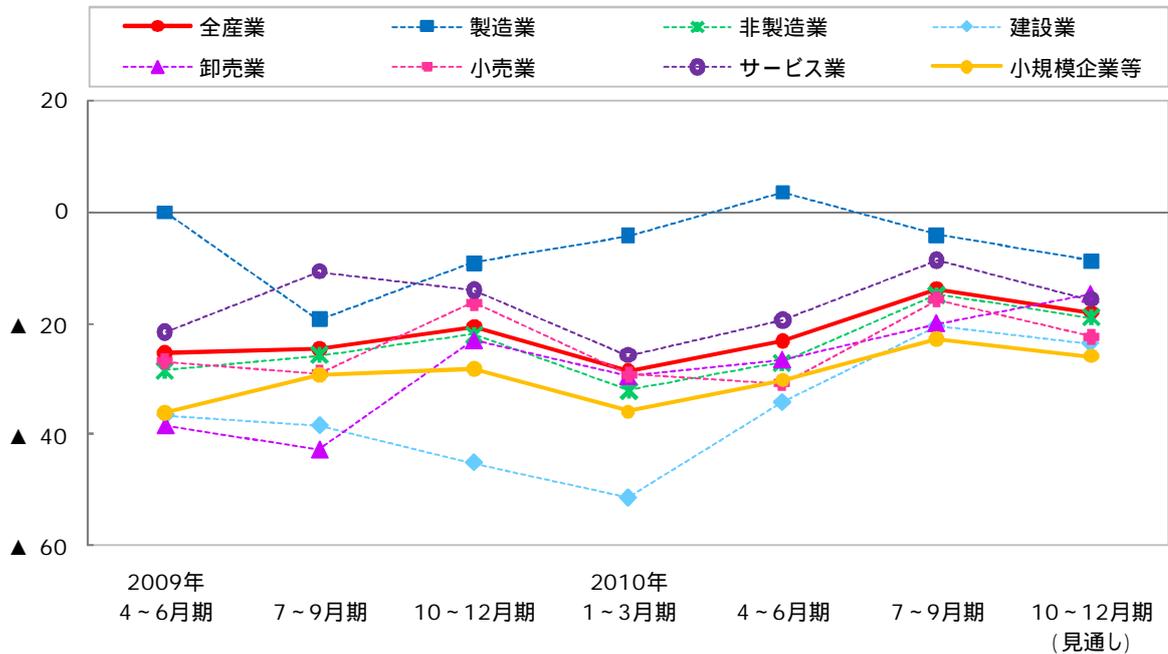
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前年同期（2009年7～9月期）と比較して

2010年7～9月期 実績	2010年10～12月期 見通し
全産業 13.8〔前回調査比+9.4〕	全産業 18.0〔今期実績比-4.2〕
業種別にみると製造業で4.1（同-7.7）と悪化し、マイナス水準（「悪化」超）に転じた。一方、非製造業では小売業（同+15.2）の大幅改善を筆頭に全業種で改善し、非製造業全体では14.9（同+12.1）と2期連続でマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は22.7（同+7.5）となり2期続けて改善した。	製造業で8.7と今期と比べて4.6ポイントの悪化が見込まれる一方、卸売業以外の業種で悪化見込みとなった非製造業全体では19.0と4.1ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは4.2ポイントの悪化見込みとなった。 また、小規模企業等は25.9と今期と比べて3.2ポイントの悪化を見込んでいる。

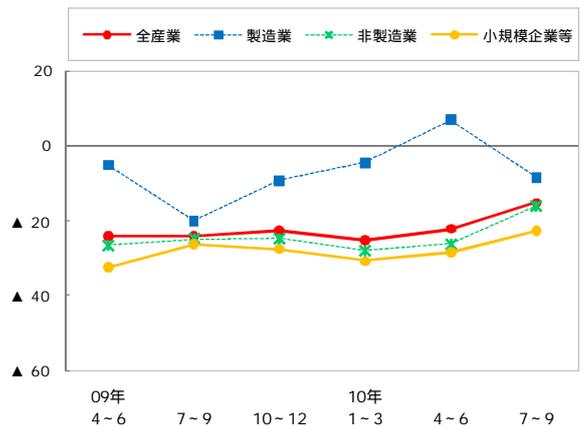
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2010年4～6月期）と比較して

2010年7～9月期 実績
全産業 15.1〔前回調査比+7.0〕
業種別にみると製造業は8.4（同-15.5）と再びマイナス水準（「悪化」超）に転じた。一方、非製造業では小売業（同+15.5）の大幅改善をはじめ全ての業種で改善し、16.0（同+10.2）と2期連続で改善した。 また、小規模企業等は22.7（同+5.6）となり2期続けて改善した。

B S I : 「好転」 - 「悪化」

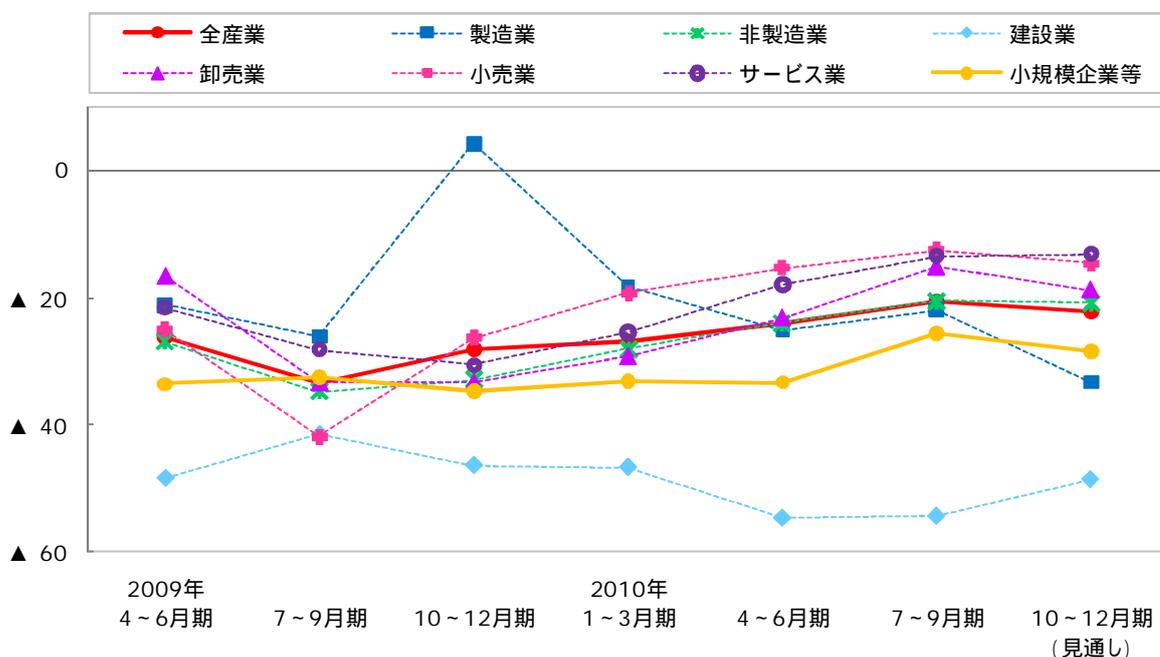


6 設備投資

前年同期（2009年7～9月期）と比較して

2010年7～9月期 実績	2010年10～12月期 見通し
全産業 20.6〔前回調査比+3.5〕	全産業 22.1〔今期実績比-1.5〕
業種別にみると製造業は 21.8（同+3.2）と改善した。一方、非製造業でも卸売業（同+8.0）をはじめ全ての業種で改善し、非製造業全体では 20.5（同+3.5）と4期連続でマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 25.5（同+7.8）となり、マイナス幅が縮小した。	製造業で 33.3と今期と比べて11.5ポイントもの大幅な悪化が見込まれる一方、非製造業では低迷が続く建設業で5.7ポイントの改善見込みとなったものの、非製造業全体では 20.7と0.2ポイントの悪化見込み。 また、小規模企業等は 28.4と今期と比べて2.9ポイントの悪化を見込んでいる。

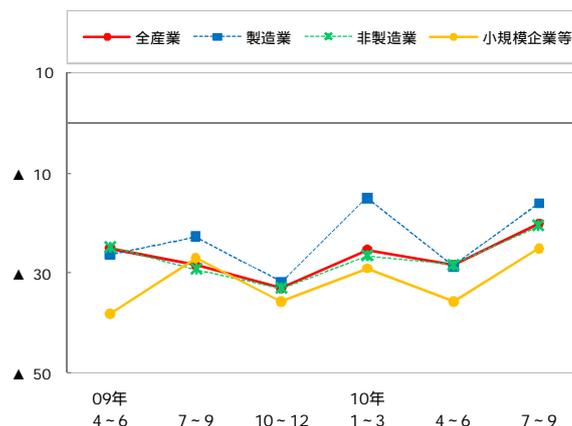
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2010年4～6月期）と比較して

2010年7～9月期 実績
全産業 20.1〔前回調査比+8.2〕
業種別にみると製造業は 16.0（同+12.6）と大幅に改善した。一方、非製造業では小売業（同+13.6）の大幅改善をはじめ全ての業種で改善し非製造業全体では 20.6（同+7.7）とマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 25.2（同+10.6）と改善した。

B S I : 「増加」 - 「減少」

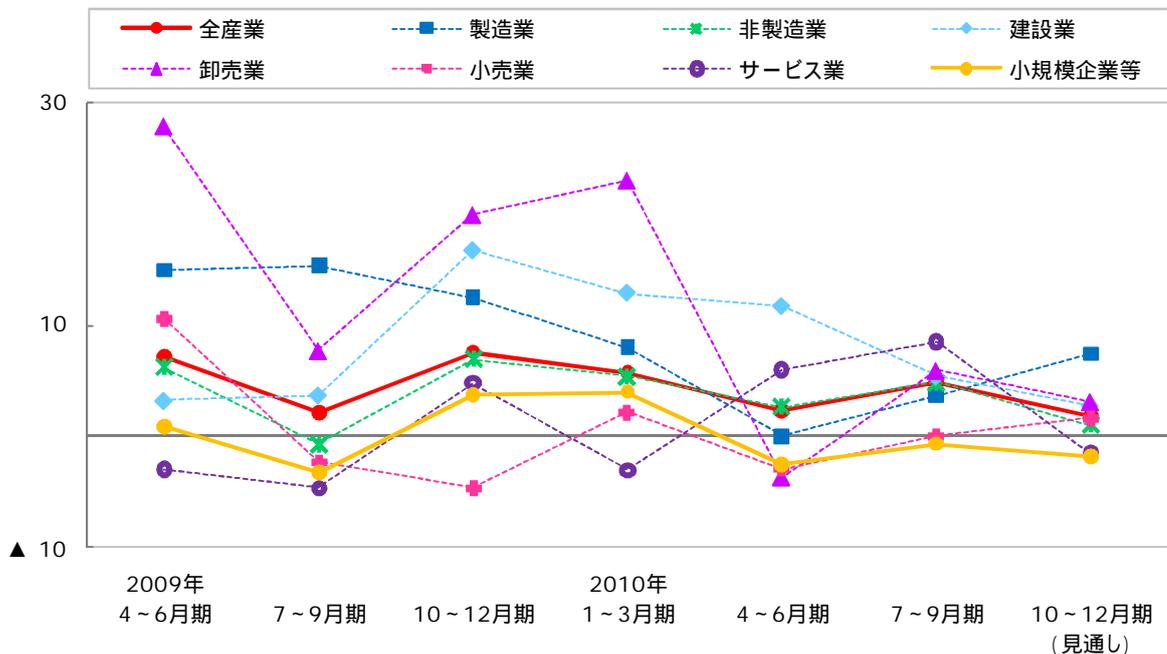


# 7 雇用状況

## 前年同期（2009年7～9月期）と比較して

2010年7～9月期 実績	2010年10～12月期 見通し
全産業 4.8〔前回調査比+2.5〕	全産業 1.8〔今期実績比-3.0〕
<p>業種別にみると製造業は3.7（同+3.7）と「過剰」とする割合が増えた。一方、非製造業では建設業（同-6.3）で過剰感が弱まったものの卸売業（同+9.6）でプラス水準（「過剰」超）に転じるなど、非製造業全体では4.9（同+2.3）と「過剰」とする割合が増加した。</p> <p>また、小規模企業等は 0.7（同+1.9）と「不足」とする割合が減った。</p>	<p>製造業で7.4と今期と比べて「過剰」とする割合が増える見込み。一方、非製造業では小売業で1.6と過剰感が強まるものの、サービス業で 1.5とマイナス水準（「不足」超）に転じるなど非製造業全体では1.0と「過剰」とする割合が減る見込み。</p> <p>また、小規模企業等では 1.9と今期と比べて「不足」とする割合が増える見通し。</p>

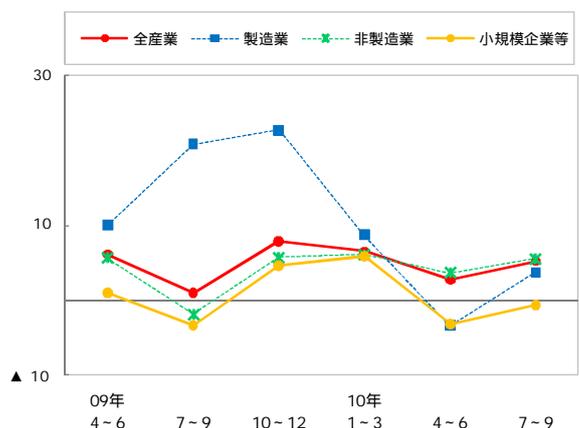
B S I : 「過剰」 - 「不足」



## 前期（2010年4～6月期）と比較して

2010年7～9月期 実績
全産業 5.2〔前回調査比+2.5〕
<p>業種別にみると製造業で3.7（同+7.1）と「過剰」とする割合が増え、再びプラス水準（「過剰」超）に転じた。一方、非製造業でも5.5（同+1.9）となり「過剰」とする割合が増えた。</p> <p>また、小規模企業等は 0.7（同+2.5）となり「不足」とする割合が減少した。</p>

B S I : 「過剰」 - 「不足」

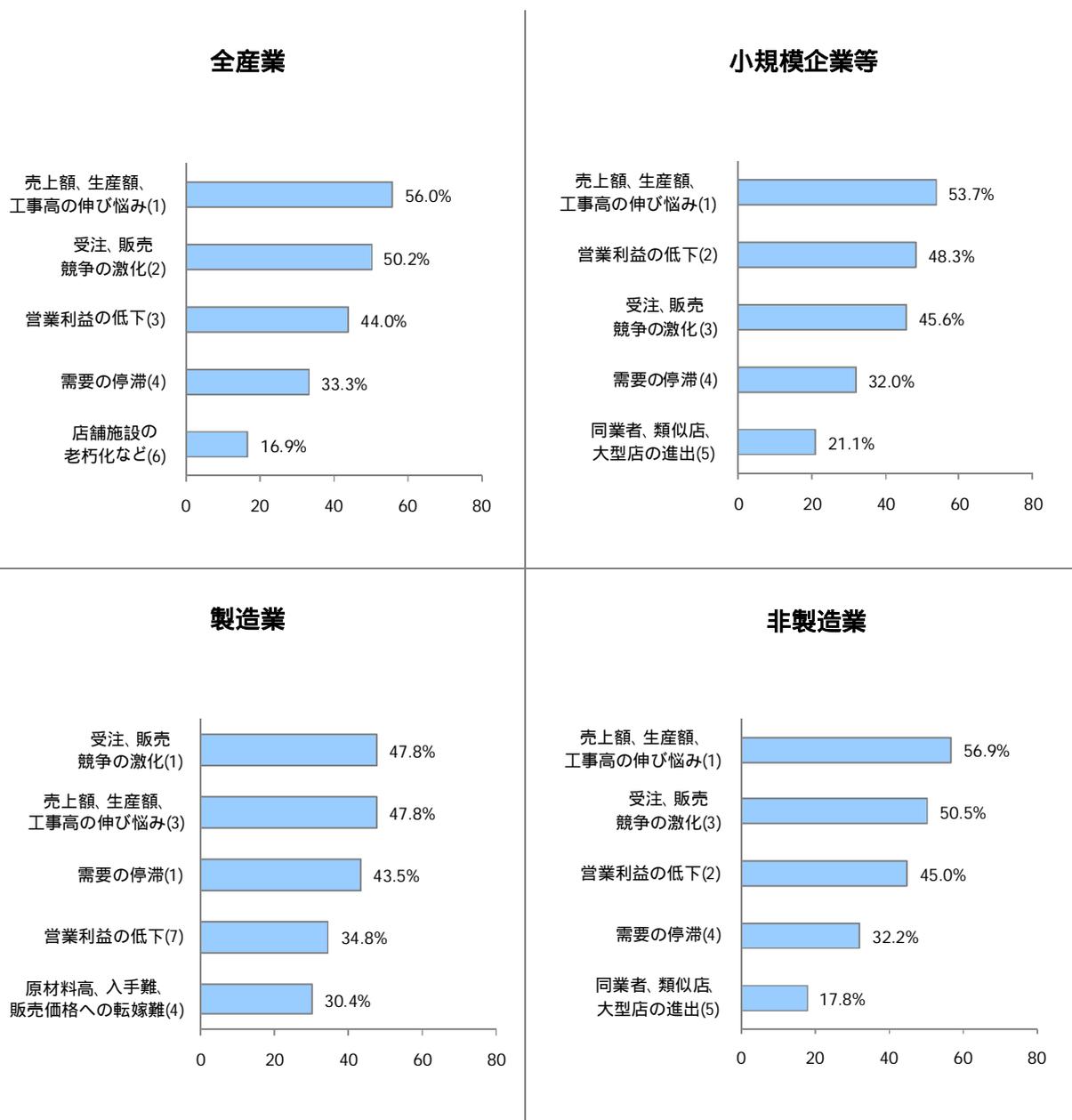


8

経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースでみると、トップは前回調査から1.7ポイント低下したものの2009年4～6月期の調査開始以来6期連続で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（56.0%）」となった。また、第2位から第4位までも前回調査と同じ結果となった。第5位には前回調査で第6位であった「店舗施設の老朽化など（16.9%）」がランクインした。

その他の特徴的な傾向として、製造業では「営業利益の低下（34.8%）」が前回調査より順位を上げ、第4位となった。また、全産業ベースで第5位となった「店舗施設の老朽化など」は小売業で第3位となった。



各項目の括弧内の数字は前回（6月）調査時の順位